

News Release

2023年5月29日

KDDI株式会社

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス

株式会社ヤマップ

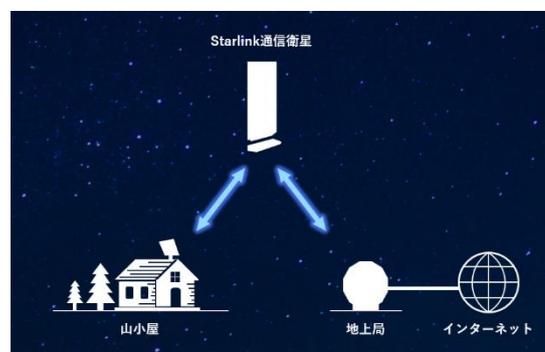
一般財団法人白馬村振興公社

衛星ブロードバンド Starlink を活用した「山小屋 Wi-Fi」提供開始 ～白馬村 八方池山荘にて先行提供、安心安全な登山・アウトドアに貢献～

KDDI株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:高橋 誠、以下 KDDI）と株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社:東京都中央区、代表取締役社長:向吉 智樹、以下 Wi2）は2023年夏以降、株式会社ヤマップ（本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:春山 慶彦、以下 ヤマップ）と協力し、電波の届きにくい山小屋の通信環境の改善を目的に、衛星ブロードバンドインターネット「Starlink」を活用した「山小屋 Wi-Fi」（以下 本サービス）の提供を開始します。これに先立ち、2023年5月29日から、一般財団法人白馬村振興公社（村長・代表理事:丸山 俊郎、以下 白馬村振興公社）が運営する八方池山荘において、本サービスを先行提供します。今後、順次使用できる山小屋を拡大していきます。



＜白馬村 八方池山荘＞



＜本サービス イメージ＞

山小屋は、宿泊・休憩・避難などを目的に登山道に設置され、登山やトレッキングを楽しむお客さまを支えています。一方、山小屋を含む登山道は地形や積雪などの理由により通信環境の整備が困難とされるエリアが多数存在し、緊急時の連絡が難しいなどの課題があります。

本サービスは、高速・低遅延の「Starlink」をバックホール回線として活用した Wi-Fi サービスで、KDDI と Wi2 が共同で提供します。光ファイバー回線の敷設が不要なため、これまで通信環境の整備が困難だった山小屋でも安定した通信が可能となります。これにより、お客さまは、山小屋においても家族や友人への安否連絡や気象情報の確認、SNS への投稿などが可能となります。また、山小屋のオーナーは、キャッシュレス決済の導入や宿泊予約、防災情報や自然災害の情報収集など、デジタル活用による業務効率化が可能となります。

また、au をご利用のお客さまは本サービスを無料でご利用いただけます。

■ 本サービスの詳細

- 提供時期 : 2023年夏以降、2023年5月29日から先行提供開始
- 利用可能エリア : 白馬村八方池山荘 ※順次、拡大予定
- 利用料 : 780円(税込) / 24時間 ※auをご利用のお客さまは無料

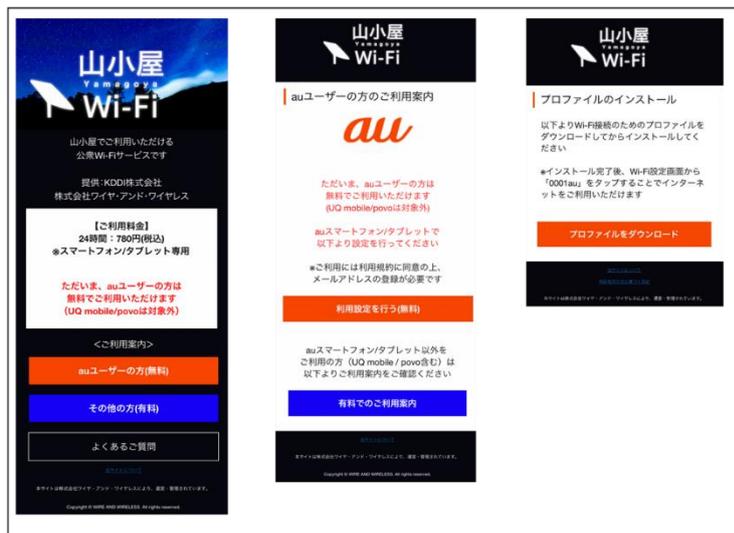
<利用方法>

<auをご利用のお客さま>

①SSID「Entry」に接続



②「auユーザーの方(無料)」を選択し、画面に従いWi-Fi接続のための設定情報(プロフィール)をダウンロードしてインストール



③SSID「0001au」に接続してインターネットを利用

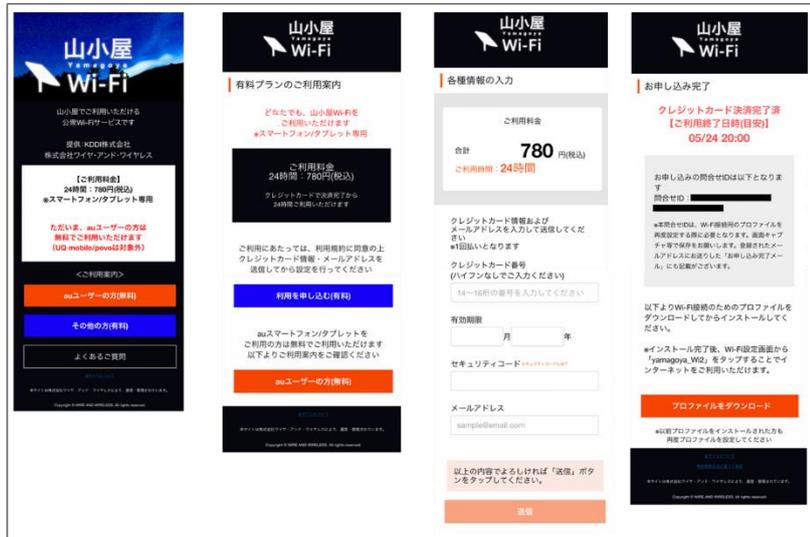


<その他のお客さま>

①SSID「Entry」に接続



②「その他の方(有料)」を選択し、画面に従いクレジットカード決済を行った後、Wi-Fi接続のための設定情報(プロフィール)をダウンロードしてインストール



③SSID「yamagoya_Wi2」に接続してインターネットを利用



本サービスの導入にあたり、白馬村村長 兼 白馬村振興公社 代表理事 丸山 俊郎は次のように述べています。

「白馬村では登山をはじめとしたアウトドアスポーツに力を入れており、年間を通して多くの登山者やアウトドア愛好家が訪れます。中でも登山は白馬を支える重要な観光資源の一つとなっており、白馬三山はじめ唐松岳など多くの山々があります。初心者から経験豊富な登山者までが訪れ、それを支えているのが山小屋の存在です。振興公社として、これまでも登山者が安全で快適に登山できるよう山小屋の環境整備に取り組んできました。山小屋の通信環境を整える本サービスは、登山者やそこで働く人にとっても非常に価値のあるものであり、山小屋のさらなる安全面や快適性を高めることにつながると考えています。」

株式会社ヤマップ CEO 春山 慶彦は次のように述べています。

Starlink を活用した「山小屋 Wi-Fi」の導入を通して、山小屋の通信環境が劇的に向上します。これは、山小屋オーナーや登山者の利便性が向上するだけでなく、遭難救助時のスムーズな情報連携、遭難場所の位置の特定、山岳環境の正確な天気の情報共有と共有など、安全面への応用が期待できます。登山の楽しみを広げ、安全面にも寄与する仕組みがつかれますよう、「山小屋 Wi-Fi」の普及に、ヤマップとしても貢献してまいります。

今後も4者は、「Starlink」を活用した山小屋 Wi-Fi の提供による山小屋の通信環境を整える活動を通じて、登山・アウトドア分野におけるデジタル化を推進していきます。

以上